

報告書

国道 143 号青木峠新トンネル事業報告会

衆議院第一議員会館 地下 1 階第 5 会議室
午後 3 時から

次第

1 開会

片田幸男 R143 期成同盟会幹事兼議連協議会事務局青木村建設農林課長

2 あいさつ

南波清吾議連協議会会長（上田市議会 議連会長）

太田昭宏元国土交通大臣

太田昌孝衆議院議員

務台俊介衆議院議員

井出庸生衆議院議員

石川雄一国土交通省道路局長

3 事業報告

長野県からの情報提供

油井均長野県建設部長

（パワーポイント、取り組み経過等、別添資料により説明）

○長野県の道路整備について

・長野地域の道路状況、整備状況等

○青木峠新トンネル事業報告

・箇所概要、調査状況、整備効果、勉強会の状況。今後の方針

○地域状況報告

・清水純子 R143 期成同盟会顧問 長野県議会議員

・北村政夫 R143 期成同盟会副会長 青木村長

4 お礼のあいさつ

太田更三議連協議会副会長（松本市議会 議連会長）

5 閉会

片田幸男 R143 期成同盟会幹事兼議連協議会事務局青木村建設農林課長

以上の次第により報告会が行われました。

考察

太田元国土交通大臣、石川道路局長、吉岡道路局企画課長といった政府関係者が、R143号の道路状況をしっかり把握されており、この道を国道規格道路とすることにしっかり取り組むとの決意があいさつの中にあり、平成27年から期成同盟会の設立が順次行われては来たが、それ以前からの道路局を中心にした関係大臣、関係官僚への地元の皆さんの働き掛けが、強くあった事が、政府関係者のあいさつにも盛り込まれており、信念岩をも通すのある種執念が今日の状況に繋がっており、期成同盟会を作った関係市村の更なる取り組みに、責任を感じた報告会でありました。

県の取り組みにも、大変な熱意を感じ、東条砂防ダムとの取り合いの中で今年度中にもルートを決めたいとの事で、更に大きな前進が見られれば、中信と東信の繋がりに大きな一歩が刻まれ、長野県の一体感が更に膨らむ事となりそうである。